

明治がもっと好きになる。
Check MEIJI NOW website!
メイジノウ

サイトなら、明大生の活動がもっとたくさん!



「MEIJI NOW」は、明大生の活動を伝える参加型情報サイトです。

「MEIJI NOW」は見るだけでなく、明大生なら誰でも参加できる情報サイトです。

記事の多くは、皆さんと同じ明大生が書いています。参考にすれば、これから始まる大学生活が、もっと充実したものになるはず!

記事掲載をご希望の方は、入学したばかりの今なら「受験体験記」のコーナーがびっぴり!

記事掲載のご応募・お問い合わせ

明治大学 経営企画部広報課
(E-mail : koho@mics.meiji.ac.jp)

記事掲載をご希望の場合は、メールの件名を【MEIJI NOW新規応募/お名前】としてください。
ご応募いただいた内容は確認の上、担当者よりご連絡を差し上げます。
内容・都合により掲載できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。



mejinow.jp

mejinow

検索

2020
New Students
Special Issue

2020
New Students
Special Issue

MEIJI NOW
メイジノウ
M A G A Z I N E

2020年4月7日 発行/明治大学 編集/明治大学経営企画部広報課
〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1 / TEL:03(3296)4040

明治がもっと好きになる。

MEIJI NOW
メイジノウ
M A G A Z I N E

新入生へ贈る言葉

Welcome to MEIJI

グローバルにつながり 挑み続ける「個」であれ

ご入学おめでとうございます。自由と大らかさに溢れた明治大学の一員になられた皆さんを教職員一同、心より歓迎いたします。

明治維新から13年後の1881年、明治大学(当時の明治法律学校)は、まだ20代後半の若い法学者(岸本辰雄、宮城浩蔵、矢代操)によって産声を上げました。19世紀後半は、世界の大きな変動期でもありました。西欧列強の植民地主義がアジア全域に及び、アメリカ合衆国もアジア太平洋地域にその影響力を行使し始めた、いわばグローバルな権力闘争の時代でした。その中で、いち早く世界的な視野から物事を理解することの重要性を認識し、留学先のフランスで学んだ自由主義的な理念や制度を日本社会の中に生かそうとしたのが、本学の創立者たちでした。

いま世界は、これまでも増して解決困難な問題に直面しています。グローバル経済はとてつもない規模の富を生み出す一方で、富の格差を生み出し、格差に起因する他者への不寛容(ポピュリズムの台頭)がデモクラシーを脅かしています。また、膨大な化石エネルギーの消費から生じる地球温暖化はグローバルな気候変動を生み出し、さまざまな環境破壊や自然災害をもたらしています。こうした事態に立ち向かうためには、人類がその国籍や言語、文化、宗教、価値観を超えてつながり協働する他はありません。

本学にはこうした問題の解決につながる知恵を提供する多様な学部・学科・研究科が存在しています。大切なのは、皆さんがこの機会をどう活用し、同じ課題を共有する世界の人々とうつながるかです。その環境も整っています。2018年度には、2,141名の明大生が、海外協定校(350校)を中心に留学を果たしました。留学助成制度も充実しています。144年前(1876年)、フランスに留学した本学の創立者たちが留学を通じて明確な目的意識を確立し、帰国後に明治大学を創立したように、ぜひ、皆さんも世界とつながり、未来にチャレンジしてください。



学長

大六野 耕作

PROFILE

1977年明治大学法学部卒業、1982年同大学院政治経済学研究科博士後期課程単位修得退学。1982年明治大学政治経済学部専任助手、1984年同専任講師、1988年同専任助教授を経て1995年同専任教授。政治経済学部長、副学長(国際交流担当)等歴任後、2020年4月より現職。専門分野は「比較政治論」。

校歌誕生100年目に 入学される皆さんへ

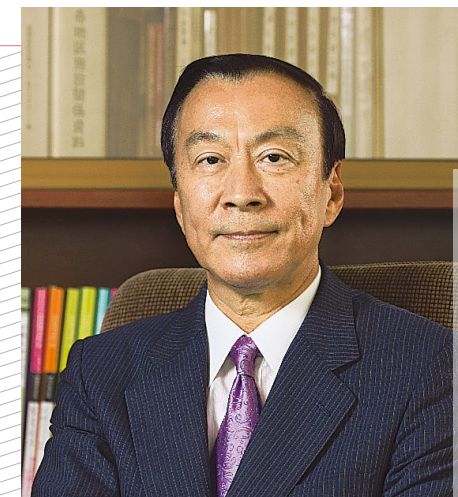
このたびの新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、入学式で皆さんに直接ご祝辞を申し上げることが叶いませんが、一言お祝いを申し上げます。新入生の皆さん、ご入学、誠におめでとうございます。新しく明治大学の仲間となる皆さんを心より歓迎いたします。

本学は、江戸時代が終焉し、社会構造が大きく変化した1881年に創設され、来年には140周年を迎えます。「権利自由」「独立自治」の建学の精神は、清冽な地下水として今日まで脈々と受け継がれています。それを体現した「明治大学校歌」が誕生して、今年で100年となります。1920年当時、本学のアイデンティティを表出させたいと熱き想いを持つ学生達が、多くの苦難を乗り越えた末に校歌を完成させたという逸話も、自らの道を切り拓いて「前へ」と進んでいく「明大スピリット」を持つ明大生らしい一面を映したものと言えましょう。入学される皆さんも、校歌に流れる本学の気風や精神を感じ取って、ぜひ歌い継いでください。

さて、現在はグローバル化が進展し、人や物、情報などが容易に行き交う時代ではありますが、その一方で、食糧問題、環境破壊、地域紛争などの課題も山積し、また今回の新型コロナウイルスの拡大に見られるように地球規模での課題も増え、その深刻さも増えています。そのような社会で活躍する皆さんには、世界の課題を学び、問題の本質を見抜く力を養った上で、これらの解決に向けて幅広い知識と専門性を培っていくことが求められています。

そうした時代の要請に応えるべく、本学では「世界の中の明治大学」という視点に立って、多様な「個」(individual)を磨く環境を整えており、その一環として留学支援制度の充実にも力を入れています。また、近年では女子学生や本学で学ぶ留学生の人数も増えており、キャンパス内での多様性も高まっています。皆さんには入学を機に、勉学に励むことはもちろんのこと、さまざまな価値観や文化的背景を持つ人達と積極的に関わってグローバル社会で必要となるスキルとマインドを高めてゆき、それぞれにふさわしい「個」の確立を目指してほしいと願っています。

本学で新たに会う仲間と切磋琢磨をして、高度な専門性と国際通用性に磨きをかけて、かつ、人間性豊かに成長を遂げられますことを大いに期待しております。



理事長

柳谷 孝

PROFILE

1975年明治大学商学部卒業。1975年野村證券(株)(現:野村ホールディングス(株))入社。1997年同社取締役、2002年同社代表取締役専務取締役。2006年同社代表執行役副社長、2008年同社副会長など歴任。昭和産業(株)社外取締役などを務める。2016年5月より現職。

法学部長
村上一博



新しい自分への
扉を開こう

ご入学おめでとうございます。皆さんのご入学を歓迎いたします。

明治大学というところは、自由なところ。法曹や公務員を目指して資格試験の勉強に精進するの、就職先を見据えて関連企業のインターンシップやアルバイトに精を出すの、大好きなスポーツに打ち込むの、海外の大学に留学して語学や経験を磨くのも、4年間をどう過ごすかは、皆さんの自由です。どういふ方向を選んで、明治大学は、頑張る皆さんをアシストする体制を準備しています。思い切って、新しい自分への扉を開き、それに向かって歩み始めましょう。

法学部で過ごす4年間、素敵な「人」との出会いが、明日への扉を開く「知」との出会いがあることを願っています。

PROFILE

1978年同志社大学法学部卒業。神戸大学大学院博士後期課程単位取得退学。明治大学法学部講師、助教授を経て、2002年同教授。2008年大学院法学研究科長等歴任し、2018年4月より法学部長・大学史資料センター所長。主要科目は「日本近代法史」。博士(法学)。

商学部長
出見世 信之



世界につながる力を
商学部で

ご入学おめでとうございます。

皆さんは、今、新生活への期待、受験から解放された安堵感、卒業後の進路に関する希望など、さまざまな思いを抱いていることでしょう。皆さんの期待に応えるため、商学部は「フューチャースキル養成講座」「特別テーマ実践科目」「特別テーマ海外研修科目」等、特色ある科目を開講しています。これらは、「学理実務兼ね通ずる人材の養成」という学部創設以来の教育理念に基づき、学んだことを実践につなげるための科目です。

商学部での学びを、どのような将来につなげていくのか、これは皆さん自身で考えなければなりません。ビジネスの現場は、さまざまな人がいろいろな形でつながりながら仕事をしています。皆さんが商学部での学びにより、世界につながる力を身につけることを期待しています。

PROFILE

1987年明治大学商学部卒業。1997年同大学院博士後期課程修了。2001年明治大学商学部助教授を経て、2003年同教授。2015年4月より現職。主要科目は「経営哲学」。博士(商学)。

政治経済学部
小西 徳應



「真の学問」が始まる!

ご入学おめでとう。政治経済学部を代表してお祝いを申し上げます。この機会に、あなたが描いている夢と希望を実現するために不可欠なことをお伝えします。

世界に大きな変革と混乱をもたらしている国際化に対処しなければ、それでは「波」に飲み込まれてしまいます。世界には多様な価値観や「常識」が存在することを理解し、「独自の正解」を導き出すことが大切です。さまざまな事象の原因と関係性を学び、将来を予測することが必要です(ツールとしての語学も)。そのようにして独自の解答を導き出すものが「真の学問」です。今からそれが始まります。「独自の正解」を導き出すためにも、自身に「社会的使命」を課してください。その理念が困難な道を乗りきるための力になります。「生涯の友」も見つけてください。

PROFILE

1982年明治大学政治経済学部卒業。1988年同大学院博士後期課程単位取得退学。同年、明治大学政治経済学部助手。講師、助教授を経て、2004年同教授。2016年6月より現職。主要科目は「日本政治史」。

文学部長
合田 正人



Welcome to
the labyrinth

今から45年前、私たち親子は小型トラックの荷台に布団や机を積み、フェリーで一夜かけて晴海埠頭に到着した。そして私は大学生になった。片時も忘れたことのない出来事である。諸君、星でも見ながら、今日までの道程を微細な髪にまで分け入って想起してみよう。そこではすでに諸君が生涯をかけても解けない数多の問いが提起されていたはずだ。自分を許すことの出来ない数多の言動があったはずだ。成人するとは、厄介なことを書くさいと切り捨て、ノイズと混沌を他人と世間のせいにするのではない。それはむしろ「自己と他者」の迷宮を丹念に育てることではないだろうか。極微の変化と差異を見逃さない感性を醸成することではないだろうか。残念ながらアリアドネーの糸も羊飼いの存在しない。教師たちも迷い続けている。迷える者同士の出会いを心から祝したい。

PROFILE

1957年香川県生まれ。一橋大学卒。東京都立大学大学院、パリ第八大学大学院中途退学。琉球大学専任講師、東京都立大学助教授を経て現職。専門は西洋思想史、ユダヤ思想。著書に『レヴィナスを読む』(ちくま学芸文庫)、『アラン幸福論』(NHK出版)など。

理工学部長
久保田 寿夫



10年後を考えて

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

明治大学理工学部へようこそ。教職員一同、新入生の皆さんを心から歓迎いたします。

皆さんは今どんな心境でしょうか。希望に溢れている人が多いと思いますが、中には不安でいっぱいの人もいること。大学には多くの施設・設備・サポートや留学などの制度が整っています。積極的に利用して、充実した学生生活を送ってください。

大学に入学した目的は、将来のための実力を養うことにあります。10年後の自分を想像して、専門分野の基礎学力はもちろんのこと、語学力などの実力をつけるよう日々努力してください。理工学部の皆さんは身の回りのものの動作原理を想像してみることも重要です。

輝かしい未来のために、これからの4年間を有意義に過ごせるよう応援します。

PROFILE

1982年明治大学工学部卒業。1984年同大学院博士前期課程修了。同年、明治大学工学部助手。講師、助教授を経て、2001年明治大学理工学部教授。2016年6月より現職。主要科目は「電気工学」。博士(工学)。

農学部長
竹本 田持



生命への感謝と
謙虚さを忘れずに

ご入学おめでとうございます。農学部の教職員一同、新入生の皆さんを歓迎いたします。

私たちの人類の生存は、動植物や微生物の生命活動によって支えられており、「いきもの」そして「いのち」の大切さを尊重することが欠かせません。また、そこには多くの人々や組織が関わっており、いわゆる他者に対する思いやりや理解も大切だと思います。皆さんがこれから学ぶ農学は、人類の生存や生活のために必要な食料、資源、環境、地域社会などの諸問題を、グローバルに、かつローカルに考える幅広い学問です。つまり、生命への感謝と謙虚さをもちながら、広く深く学ぶことが農学の魅力であるといえます。農学部での4年間、皆さんが主体的に学ぶとともに、良き仲間づくりを通して、心豊かな人間として成長されることを願っています。

PROFILE

1981年明治大学農学部卒業。1983年同大学院修士課程修了。同年財団法人過疎地域問題調査会研究員、1986年明治大学農学部助手。講師、助教授、准教授を経て、2011年同教授。2020年4月より現職。主要科目は「農業マネジメント論」。博士(農学)。

経営学部長
大倉 学



多様な視点から考えよう

新入生の皆さん、ようこそ経営学部へ。教職員一同、心から歓迎します。

早い話ですが4年後を見据えてください。今は当たり前なのがどのように変化していくでしょう。AIやIoTはどのように進化して社会をそして私たちの生活を変えていくでしょうか。ESG、SDGs、気候変動等のインパクトは？

皆さんは経営学部で学んでいきます。さまざまなプログラムがありますので教室内外で多くを学ぶことで。3つある学科のいずれかに進み、専門的考究を行うことになるでしょう。先ずは学ぶこと知ることの楽しさを経験してください。

そして、著しい環境変化のなかでは多様で弾力性をもった視点を持つことが重要ですので、多くの検討視座を蓄えてください。ともに進みましょう。

PROFILE

1987年明治大学経営学部卒業。1991年同大学院博士後期課程退学(2年在学)。同年明治大学専任助手。専任講師、助教授を経て2005年より教授。学生部委員、学科長、教務主任を歴任し、2018年4月より現職。専門は財務会計論、制度会計論。

情報
コミュニケーション学部長
須田 努



ようこそ
「ガクの情コミ」へ

ご入学おめでとう。心から歓迎します。明治大学は「独立・自治」を建学の精神としています。皆さんは、それを明治大学校歌(2番)で歌うこととなります。わたしたち情報コミュニケーション学部は「ガクの情コミ」を掲げています。この「ガク」とは学と楽を意味しています。学問・研究という知的営為は楽しいものなのです。そして、情コミは多様性を重視しています。しかし、それは好き勝手なことを主張することではありません。異なる他者を認め、それを尊重することが重要なのです。そのためには、学問・研究により自己を律していくことが必要となります。自律できるための力を教養と呼びます。情コミの4年間でそれを実感できるはず。さあ、明治大学の自由な環境の下、「ガクの情コミ」で多様性を内面化できる力をつけていきましょう。

PROFILE

1959年群馬県生まれ。1981年明治大学文学部史学地理学科卒業。1997年早稲田大学大学院日本史学専攻博士後期課程修了。2008年明治大学情報コミュニケーション学部准教授。2011年より同教授。2020年4月より現職。主な著書に、『悪党の一九世紀』(青木書店)、『三遊亭円朝と民衆世界』(有志舎)など。博士(文学)。

国際日本学部長
鈴木 賢志



日本と世界をつなげ

ご入学おめでとうございます！グローバル化が進むこの世界において「日本と世界をつなぐ」力がますます必要とされています。皆さんはこれからさまざまな学びを得て、自分なりの「日本と世界をつなぐ」方法を探っていきます。その努力は、絶え間なく変わる世界を主体的に生きる上で、必ず役に立つと思います。

Connect Japan and the world

Welcome to our School! Your competence of “connecting Japan and the world” is more and more needed, as this world is getting more globalized. You will learn a lot to find your own way of “connecting Japan and the world”. That effort will certainly be helpful when you lead a proactive life in the ever-changing world.

PROFILE

明治大学附属明治中学・高校卒業、東京大学(法学)卒業、ロンドン大学(修士)、ウォリック大学(博士)。スウェーデンで10年間教育研究に従事し、オックスフォード大学研究員を経て、2008年明治大学国際日本学部准教授、2013年同教授。2018年4月より現職。専門は政治社会学。一般社団法人スウェーデン社会研究所代表理事・所長。

総合数理学部長
荒川 薫



数理学で
未来をデザイン

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

総合数理学部は、数理学と情報技術を使って、世の中の問題を解決したり、私達の生活を快適にするモノやコトをデザインする学部です。皆さんは、数理学と情報技術だけで世の中がどのくらい良くなるのかと思うかも知れません。でも、現実には、数理と情報の飛躍的進歩は多くの不可能を可能とし、世の中に多くの恩恵をもたらしました。AIやインターネットの発展がそれを物語っています。皆さんは、ぜひ、数理学と情報技術を使って、未来社会のデザインに取り組んでください。10年後、20年度、世の中はどのようになればよいのでしょうか?この学部で、自由な発想で夢を広げ、今は不可能と思われることを可能とできるようなイノベーションを起こすことにチャレンジしてほしいと思います。

PROFILE

1980年東京大学工学部卒業。1986年同大学院博士課程修了。1987年同大学工学部助手、1989年明治大学理工学部講師。同学部助教授、教授を経て、2013年同大学総合数理学部教授。2017年4月より現職。専門は、知覚情報処理、機械学習、生体情報処理。工学博士。

大学院長
小川 知之



社会を変える
プレイヤーになれ

私たちの周りをめまぐるしく流れては消えてゆく情報は、社会のダイナミクスの末端もしくは射影にすぎません。その情報を受動的に見聞きしているだけでは社会を変えてゆくプレイヤーになることはできず、傍観者で終わってしまいます。大学院で学ぶ理由は、まさに社会のダイナミクスのプレイヤーになるためなのです。そのためには情報の本質を見抜き、そこに新たな価値を創造する力を身につけなければなりません。大学院では、論文を読むことで専門的な研究に触れますが、その中にまだ誰も気がついていない問題を見つける訓練をします。その際、同じように真剣に研究している仲間と議論することが大切です。専門がむしろ違う仲間と対話することで、問題に対する無数の解決策を自由に生み出す脳本来の力を呼びさましてください。

PROFILE

1984年京都大学理学部卒。広島大学理学部助手、大阪大学基礎工学部講師、准教授を経て2011年明治大学理工学部教授。2013年総合数理学部に移籍。先端数理学部研究科長、研究担当副学長を経て、2020年4月から現職。専門は応用数学、モデリング。博士(理学)。

専門職大学院長
吉村 孝司



プロフェッショナルへの途

専門職大学院ご入学おめでとうございます。

ガバナンス、ビジネス、会計、法務の4研究科からなる明治大学専門職大学院は学識に裏付けられた特別な技能を習得し、社会の利益に寄与する高度専門職業人(プロフェッショナル)の養成を目的としており、4研究科がそれぞれに掲げるポリシーのもとに、これまでに多くのプロフェッショナルを社会に輩出して参りました。

これよりみなさんはプロフェッショナルとしての資性、資質、能力の涵養に専念いただくことになります。プロフェッショナルへの途は決して容易いものではありませんが、社会からの期待に応え、必ずや活躍いただくためにわれわれが終始万全のサポートに努めます。

明治大学専門職大学院は皆さんのご入学を心より歓迎いたします。

PROFILE

1984年明治大学経営学部卒業。1994年同大学院博士後期課程修了。新潟産業大学教授、埼玉学園大学教授を経て、2005年より明治大学大学院会計専門職研究科(現専門職大学院会計専門職研究科)教授。2012年4月より会計専門職研究科長、2016年12月より現職。博士(経営学)。

思索の樹海

学生生活への扉

読書の世界

留学への挑戦

知の広場

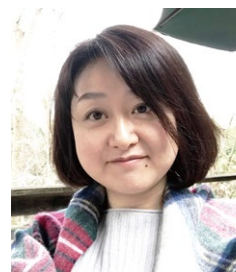
映画の世界

音楽の世界

広く深い学問に分け入って、
人間とは何か、真理とは何かを、
思索しよう。

学生生活への扉

弱さこそあなたの宝物



経営学部専任講師
早川 佐知子

HAYAKAWA Sachiko

PROFILE

1977年山梨県生まれ。2013年、明治大学大学院経営学研究科博士後期課程修了(博士(経営学))。広島国際大学医療経営学部講師を経て、2019年より明治大学経営学部公共経営学科専任講師。専門は医療マネジメント、人事労務管理。著書:『アメリカの看護師と派遣労働—その歴史と特殊性—』(溪水社)

最も国民に尊敬され、その功績を評価されているアメリカ大統領は誰か知っていますか? 多くの調査で必ず1位、もしくは上位にランクインするのが、第16代大統領のエイブラハム・リンカーン(1809-1865)です。南北戦争で北軍を勝利に導き、奴隷解放宣言を行った功績などは、歴史の授業等でご存知でしょう。

ですが、リンカーンが若い頃からうつ病を患い、大統領になっても何となくひどい気持ちの落ち込みや絶望感を体験しながら生きてきたことは、あまり知られていないのではないのでしょうか。偉大な弁護士、偉大な大統領としての人生を歩んだ人物が、自殺願望と日々闘い、自分の存在を否定しながら任務をまっとうしてきたとは、にわかには信じられないですね。

病に罹るといことは、一般的に考えれば、その人にとって追い風ではありません。もちろん、リンカーンにとっても、病と共に生きる毎日は、艱難辛苦に満ちたものだったようです。しかし、それがあまりにも辛かったからこそその苦悩の中から自らの生きる意味を見出し、小さな私利私欲に惑わされることなく、国家の進むべき道を示すことができたのです。もし彼の人生に病が存在しなかったら、歴史に名を刻む大統領にはなれなかったと言っても過言ではありません。なお、32代F・ルーズヴェルトは足に障害を持ち、日常は車椅子で生活していました。35代ケネディは生涯にわたって病氣ばかり、体が弱かったせいで海軍士官学校に不合格となっています。42代クリントンの幼少期は義父からのDVに耐える日々、44代オバマは、幼い頃に両親に代わって、祖父母に育てられるなど、逆風を経験した大統領は枚挙にいとまがありません。

新入生の皆さんにも、弱点やコンプレックス、挫折経験などを抱えている人がいるでしょう。「自信がない」「自分を好きになれない」と感じている人もいます。ですが、人生を長い目で見ると、実は、そんなあなたの「弱い部分」こそが、一番の宝物であり、一番の武器になることが多いのです。

うつ病との闘いの中から自らの使命を見出したリンカーンのように、「自分が生きる意味」というものは、大きな苦悩を経験しないことには、なかなか見出せません。もし今、自分の弱い部分と直面していたら、逃げることなく大いにそれと格闘してほしいと思います。「自分はもうだめだ」という敗北宣言ギリギリまで来てようやく、真に価値のあることが見え、新しい人生が始まるのですから。

昨今、「自己肯定感」がブームになっていますが、自己肯定感なんて低くても、常に内省しながら、謙虚に生きている人は、確かな人望がありますし、とても素敵です。どうか皆さんも、どれほど大きな自分の弱い部分があったとしても、それを否定せず、むしろ大切に生きていってください。そしていつか、「自分が生きる意味」を見つけられるといいですね。4年間は本当に短い間ですが、私たち明治大学の教員も、その手助けができればと望んでいます。



読書の世界

自分なりの読書の方法

法学部専任講師
福井 清貴

FUKUI Kiyotaka

PROFILE

1983年、千葉県生まれ。2007年上智大学大学院法学研究科博士前期課程修了。上智大学法学部特別研究員(PD)、ドイツ連邦共和国ミュンヘン大学客員研究員等を経て、2015年より現職。主な著書「いのち、裁判と法 比較法の新たな潮流」(三省堂、2017年、共著)所属学会:国際私法学会、日本国際経済法学会、国際法学会 専門:国際私法

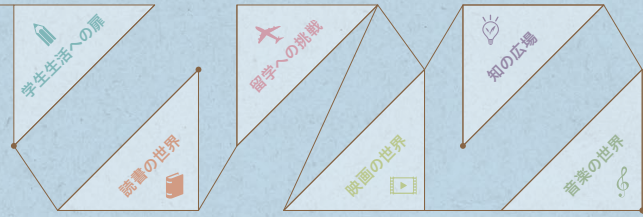
ご入学おめでとうございます。入学後、みなさんには、これまで以上に本を読む必要が生じてくるでしょう。その際の読書のきっかけは、ゼミ発表のための準備や講義の予習であったり期末試験や資格試験のための勉強であったりするかと思います。もちろんこういった目的に沿った読書も大事です。ですが、そういったことは全く関係ない本を読んでも、それなりに時間的余裕のある学生の時期において、貴重な一体験となると思います。ただ、そのいずれに際しても、自分に合った読書の方法に気を向けてみるとよいかもかもしれません。

私には、大学に入った後、何となく漠然と「頭がよくなるかも」という、今思えばよくわからない理由で、分野を問わず色々な本を買ったり借りたりして読んだ時期がありました。しかししばらくして、読んだ本の内容がほとんど頭に残っていないことに気がきました。頑張って読んでみたのに何の意味もなかったと愕然としたわけです。読書はすること自体に意味があり、本人の気付かないうちに実はためになっているという考え方もありますが、当時の私はそうは思いませんでした。

結局、これに対する私の対策としては、考えながら読み、気になった点はメモをとったり、(自分の本であれば)書き込んだりするという読み方でした。例えば、興味深いと思ったり、よく理解できなかったところに線を引いて、自分なりの解釈を書き込んでみるといったことをしました。こうすることで、今まで自分はただ本を「読んだつもり」になっていただけで、そもそも内容を理解しようとしていなかったことを認識できました。この方法には、読み進めるスピードが遅くなったり、本が汚れるという欠点もあるのですが、より深く読み込んだ気になれますし、自分には楽しめる読み方であったこともあり、私には適していたと今も感じています。本を再読する際に、過去の書き込みなどを見つけると、昔の私はこんなことを考えていたのかと、以前の自分からの成長(あるいは退行?)に気付くことができるという副次的効果もあります。



思索の樹海



広く深い学問に分け入って、
人間とは何か、真理とは何かを、
思索しよう。

留学への挑戦

グローバル社会を生きる皆さんへ



政治経済学部専任講師
齋藤 雅己
SAITO Masami

PROFILE

1972年東京都生まれ。明治大学政治経済学部卒業。明治大学大学院政治経済学研究科博士後期課程単位取得退学。明治大学政治経済学部助手を経て、現在専任講師。専門は経済政策。主要担当科目は「経済政策原理」、「数量経済分析」。現在の研究テーマは「経済成長理論と経済成長政策に関する研究」。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私は、かつて皆さんと同じように明治大学に入学し、和泉キャンパスで学生生活を始めたので、大きな期待に胸を膨らませている皆さんの姿をとて身近に感じます。

私が学生だった頃と現在とでもっとも大きく変わったことの一つは、明治大学がグローバル化しているということです。私が担当する演習では、ゼミ生12名中2名がオランダへ留学しているだけでなく、学部留学生1名に加えて多くの交換留学生(春学期:フランス6名、タイ3名/秋学期:タイ8名、韓国・インドネシア各1名)を受け入れ、毎週Wall Street Journalを読んで、世界中で起こっているさまざまな出来事について英語でディスカッションしています。このようなことは、私の学生時代には考えられなかった光景です(笑)。

私は、所属する政治経済学部の国際交流にも関わっており、短期受入/派遣プログラムを担当しているのですが、海外の学生と明治大学の学生が交流するのを見て、生まれ育った国や社会が異なっても、言語・文化・価値観等の違いを越えて、互いの考えや意見を伝えて理解し合えるというのはとても素晴らしいことだと思います。彼らが友人関係を築いてSNSで繋がり、ときには相手の国に遊びに行き旧交を温めている話を聞くと、素直にうれしく思います(そしてうらやましくも思います)。

明治大学がグローバル化しているのは、ラグビーW杯日本代表選手の出身や国籍がさまざまであったことが象徴しているように、私たちの住んでいる社会がグローバル化しているからです。訪日外国人観光客が3000万人を超え、コンビニなどでも外国の方が働いていて、多くの企業が国境を越えてビジネス展開しています。ですから、新入生の皆さんは在学中にぜひ海外へ挑戦してみてください。就職活動を心配して留学しないというケースもあるようですが、海外での経験は、グローバル社会に生きる皆さんの将来の可能性を広げることはあっても、マイナスになるはずがありません。

私からのおススメは、タイ・ベトナム・シンガポールなどの東南アジア地域への留学です。各国のトップクラスの大学では、英語で授業を受けられますし、世界中から留学生が

学びに来ていて、優秀な現地学生と一緒に勉強することができます。この地域は急速な経済発展を遂げているため、経済・社会もダイナミックに変化し続けており、人々のエネルギーを体感できます。まだまだ生活コストも安く、なにより料理がとても美味しい!

大学生活で何を学び、どのように行動するのかというところは、すべて皆さんに委ねられています。これからの4年間、皆さんの成長と飛躍を期待しています!!



2019年度春学期ゼミ外書演習



2019年度政治経済学部
アジア太平洋地域協定校短期受入プログラム山中合宿
(留学生&サポーター学生)

明大生の留学体験記
(MEIJI NOW)



映画の世界

映画の場所、場所の映画



理工学部教授
倉石 信乃
KURAIISHI Shino

PROFILE

1963年長野県生まれ。2007年明治大学理工学部准教授、12年同教授。主な著書に詩集「使い」(思潮社、2018年)、評論集「スナップショット—写真の輝き」(大修館書店、2010年)、「反写真論」(オシリス、1999年)など。専門:近代美術史・写真史

1964年の東京オリンピックは、国土の姿形を決定的に改変せしめたという点では、関東大震災や太平洋戦争をも凌ぐ指標といえるかもしれない。そのような実感を得たのは、写真や映画を通じて知る風景の実際が、どうやら1960年代の初頭を境にして、ずいぶん様変わりしたことに気づかずにはられないからだ。戦前から1950年代までのロケーションを伴う日本映画と、オリンピック以後のそれとでは、都市とその近郊の風景が決定的に異なって見えてくるのである。

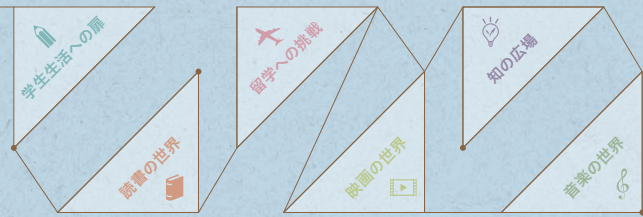
1950年代に盛期を迎えた巨匠と目される映画監督に、黒澤明、溝口健二、小津安二郎らがいるが、成瀬巳喜男もその一人だろう。成瀬は、登場人物の細やかな心理の陰翳と、彼らの暮らす環境の気象や地勢の移り変わりとを巧みに結びつけている。占領期を脱しオリンピックへ向けて首都がドラスティックに変わり始めた、50年初頭の映画「稲妻」と「あにいもうと」は、いずれも、川のある「風景映画」として読むことができ、「川向こう」にある都心の経済発展によって浸蝕されつつある川端の自然や伝統的な暮らし、そして旧套的な家族制度の「終わりのはじまり」を、鋭敏にとらえて止まない。

フィクションを旨とする劇映画の中に、社会の変化をたどろうとする試みは、映画そのものを功利主義的に考えすぎるきらいがあるし、虚構と現実の意図的な混同も生じがちだから、注意が必要だ。しかし映画はいつも、その時代ごとに表れる共同的な心性というべきものに不可避に触れており、また隣接する領域である、文学や演劇、美術や音楽から果実をもち取りながら、かえってそれらの領域を挑発するに到る。本来的に学際的であり、誤読を含めたさまざまな読解への誘惑に満ちた多義的なテキストとしてある映画には、それが優れたものであればあるほど、ハイブリッドな利用価値がある。近年の私の映画への関心は、特定の土地を描いた映画をひとつのまとまりと見なし、時代を追っていくつか集め、写真や絵画、また地誌的な文字の記述と併せて、考察してみることである。映画を

通じた地域の探求の一端については、理工学部の主に新入生向けの講義科目「総合文化ゼミナール」で、学生の皆さんと共有している。これまでに「ハワイ」「沖縄」「広島」をテーマにそうした授業を行ってきたが、それらはいずれも、近代史における負の傷痕が生々しく刻みつけられてある場所だ。そこから立ち上がる映画は、私たちがいまなお責任を分かち持つべきであるにもかかわらず、容易に数値化も言語化もしがたい当の場所にまつわる記憶について、実に多くを教えてくれる。



思索の樹海



知の広場

現象と数理解モデルと数学



総合数理学部教授
若野 友一郎

WAKANO Yuichiro

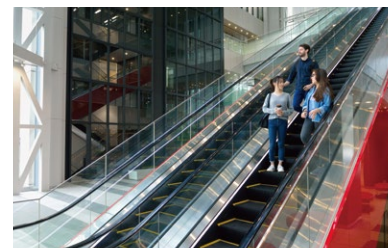
PROFILE

1973年生まれ。1996年京都大学理学部卒業。2001年京都大学大学院理学研究科生物科学専攻・博士課程修了(博士(理学))。東京大学研究拠点形成特任研究員、日本学術振興会特別研究員PDなどを経て、2007年明治大学研究・知財戦略機構特任准教授。2009年科学技術振興機構さがけに採択(兼任)。2011年明治大学大学院先端数理学部研究科特任准教授。2013年明治大学総合数理学部現象数理学科准教授。2018年より教授。
主な所属学会：日本数理生物学会、日本数学会、日本人類学会
ホームページ
<http://joewakano.sakura.ne.jp/research/index-j.html>

私は数理解モデルを用いて生物の進化を研究しています。そこでよく、「数学で生物や人類の進化が分かるのか」と聞かれます。生物学は19世紀頃まで数学とは無縁な存在でしたが、最近では数理解モデルの重要性が高まってきました。なぜ数学が役に立つのでしょうか。科学とは仮説を構築し、それを検証するプロセスの繰り返しです。学問が科学として成立するためには、仮説はまったく自由に立てて良いわけではなく、論理的に構成されている必要があります。そのプロセスにおいて、数理解モデルが重要な役割を果たしているのです。例をとって説明します。ねずみ算というもの聞いたことがあると思います。十分良い環境において、生物の個体数が毎年2倍になるといふモデルを考えます。このモデルを人類にははめてみましょう。人間は1年で死ぬわけではありませんし、思春期より前の個体は子供を作りません。では、人口が毎年2倍になるためには、何歳の個体が年に何人の子供を産めばよいのでしょうか。この問題に答える形で、レズリー行列モデルやオイラーロトカ方程式などの数理解モデルが生まれました。これらのモデルは、ちょうど大学の学部レベルの数学で理解できるものなので、興味のある方はぜひ詳しく調べてみてください。

現実を記述する数式として有名なものに、ニュートンの運動方程式などの物理の公式があります。高校で公式として一つまり真実として一学習し、それを用いて物理の問題を解いたりしてきたことでしょうか。物理で学ぶ公式は、数多くの実験によって正しさが確認されており、だからこそ教科書に出てくるわけです。私は今、旧石器時代の人類を研究しています。十分良い環境において、彼らは毎年何倍で増えていたのでしょうか。タイムマシンがない限り、この問題に対する真の正解を我々が知ることはできません。しかし、多くの遺跡が残されており、仮説検証スタイルの科学的研究が可能です。そこでは、物理の公式に対応するような基本法則はほとんど未知であり、論理的に正しいという枠の中で自由に仮説を作ることができます。様々な考古証拠をもとに、何が起きていたのかを考えるのは、

ロマンあふれる作業であり、研究者にとって一番楽しい瞬間とも言えます。数理解モデル研究は、その楽しい作業だけを切り出して自由に思索できる、大変楽しい研究です。大学へ入学する皆さんにはぜひ、科学の持つ自由さを学んで欲しいと思っています。例えば高校で極限や微分を学びますが、これも数理解モデルの一つです。ニュートンは何も無いところから、自由な発想で、自分の物理理論を記述する数理解モデルとして微分を発明したのです。その発明は当初は直感的なものでしたが、やがて実数や無限の概念の精緻化などの大学の数学へとつながっていきます。現象を数理解モデルで理解することは、現在の数学の発展そのものだとも言えるのです。ぜひ自由な発想で現象と数理解モデルと数学を学んでほしいと思っています。



資格取得のススメ

明治大学では、特定の授業を履修する課程により、取得できる資格がたくさんあります。資格を取得することは、自分の可能性を広げ、社会で必要とされる能力を高めることにつながります。

取得できる資格

教職課程

教員として働くために必要な、教育職員免許状を取得することができる課程です。広く深い教養に加え、型にはまらず、豊かな人間性と個性を持った教員を養成することを目的としています。
※明治大学の教職課程では、免許状の取得まで少なくとも2年を要するため、なるべく1年次からの履修開始がお勧めです。

学芸員養成課程

学芸員資格を取得することができる課程です。学芸員とは、美術館、動物園、水族館などの各種博物館で働く専門職員です。明治大学では、これまでに5,000名を超える有資格者を輩出しています。
※2年次以上から履修がはじまります。

社会教育主事課程

社会教育主事任用資格を取得することができる課程です。社会教育主事とは、社会教育・生涯学習施設や教育委員会で働く専門職員です。地域でのさまざまな学習・文化事業の企画・実施を行うと同時に、社会教育活動を行う地域のリーダーに対して、アドバイスや指導を行います。

司書課程

司書課程では、各種図書館の運営や活用に関する専門的な学習を通し、高度情報社会における膨大な情報との付き合い方、情報リテラシー(情報活用能力)を体系的に学びます。この課程での学びを生かし、一般企業・銀行・NPOなどにおいて、情報資料の整理および情報提供の専門家として活躍する例も増えてきています。

司書教諭課程

司書教諭とは、所定の科目を修得することにより付与される資格です。学校図書館の専門職務をつかさどる教諭として、小・中・高等学校それぞれの学校図書館で働きます。
※司書教諭の資格は、小学校・中学校・高等学校のいずれかの教員免許状を併せて取得して初めてその効力が生じます。司書教諭を目指す人は、教職課程を合わせて履修しましょう。

資格課程を履修するためには、
年度初めのガイダンスに出席することが必須です。

■ ガイダンス情報はホームページをチェック! <https://www.meiji.ac.jp/shikaku/>

または 明治大学ホームページから

お問い合わせ

- ▶ 駿河台キャンパス / リバティタワー19階 資格課程事務局 TEL 03-3296-4184~6
- ▶ 和泉キャンパス / 第一校舎1階 資格課程和泉分室 TEL 03-5300-1191
- ▶ 生田キャンパス / 中央校舎1階 資格課程生田分室 TEL 044-934-7641
- ▶ 中野キャンパス / 高層棟6階 資格課程中野分室 TEL 03-5343-8088

公開講座「リバティアカデミー」



在学生も受講ができる公開講座「リバティアカデミー」では、資格取得やTOEIC®のスコアアップ、英会話力向上を目指す講座を多数開設しています。詳しくは、学内に設置しているパンフレット、ホームページをご覧ください。

【講座例】TOEIC®IPテスト対策講座、公務員試験受験対策講座

<https://academy.meiji.jp>

お問い合わせは ▶ 駿河台キャンパス / アカデミーコモン11階 リバティアカデミー事務局 TEL 03-3296-4423

明治大学の取り組みは、文部科学省が国際化を進める大学を重点的に支援する「スーパーグローバル大学創成支援(タイプB)」に採択されています。皆さんの「未知なる世界への第一歩」をバックアップします!

世界へ! MEIJI 8000* — 学生の主体的学びを育み、未来開拓力に優れた人材を育成 —

*毎年卒業生8000人すべてを「グローバル化によって価値観が多様化した世界で、主体的に学び、自ら考え、意思決定し、新しい価値を創造する人材」として社会に送り出す構想。

明治大学の留学制度

海外留学制度の詳細は「海外留学の手引き」をご参照ください。



	協定留学	認定留学
留学先	明治大学と留学の協定を結んでいる高等教育機関など	学位の授与権を有する世界各国の高等教育機関など
留学まで	学内募集に応募。学内選考に合格したのち、協定校へ出願し、協定校から入学許可をもらう	自身で留学先大学を選び、出願手続を行う 留学先機関から入学許可を受領後、明治大学に認定留学の申請をする <small>※所属学部・研究科から承認を得る必要があります。</small>
留学先授業料	交換型：免除(明治大学の学費は納入する必要あり) 授業料負担型：明治大学と留学先両方に納入(助成制度あり)	明治大学と留学先両方に納入(助成制度あり)
単位の認定	留学先で修得した単位は、所属学部・研究科において所定の手続き・審査を経ることで、明治大学の卒業要件単位として認定される可能性があります。 <small>※ 留学先で修得した単位は自動的に明治大学の単位として認定されるわけではなく、また、必ずしも修得した単位が全て認定されるわけではありません。</small>	

留学するなら、明治でしょ!

POINT 1

留学できる協定校が世界中にある!

明治大学が留学の協定を結んでいる協定校は、44カ国・地域258大学(2020年1月現在)。協定校の一覧はホームページで確認できます。

▶ 明治大学ホームページから
協定校一覧

※すべての協定校に留学できるものではありません。

POINT 3

留学先授業料・留学経費の助成制度がある!

協定・認定留学する場合は、給付型(返還不要)の助成金へ申請が可能です。最新情報はホームページで確認できます。

▶ 明治大学ホームページから
外国留学奨励助成金 ※申請資格・選考あり

お問い合わせ ▶ 駿河台キャンパス / グローバルフロント2階 国際教育事務局 TEL 03-3296-4487 <https://www.meiji.ac.jp/cip/from/>

Let's study abroad from Meiji University!

POINT 2

夏休みや春休みを利用した短期海外研修も豊富!

長期の休暇期間には、海外の大学への語学研修、海外インターンシップ、海外ボランティアなど、さまざまな留学プログラムが実施されており、参加プログラムを選択することができます。

キャンパス内での語学学習

- ▶ 学部間共通外国語
- ▶ 留学志望者対象英語プログラム
- ▶ English Cafe



短期留学(イギリス)

English Cafe

POINT 4

留学準備を支援します!

和泉キャンパスに海外留学を専門に取り扱う「国際教育事務局(海外留学)」や「国際交流ラウンジ・留学相談(カウンセリング)」などを設置し、大学入学後より早い時期から留学準備ができるようサポートしています。また、留学に関する説明会や、海外留学説明会なども開催しています。



海外留学フェスタ

「前へ!!」就職

将来の自分を「ソウゾウ」しよう!

皆さんは、卒業後、10年後、20年後の自らの姿を「ソウゾウ・想像」できますか?
明治大学では、皆さんが将来の職業、あるいは社会との関わり方について考え、将来の自分を「ソウゾウ・創造」するためのサポートを、入学後から卒業まで一貫して行っています。

将来の進路や就職活動についてのお悩み・ご相談は「就職キャリア支援センター」へ

▶ <https://www.meiji.ac.jp/shushoku/>



皆さんのキャリアデザインをサポートするために、就職・進路相談やさまざまな講座・行事などを行っています。将来について考えたら、まずは一步「前へ!!」踏み出してみましょう。

就職・進路相談

就職活動全般、インターンシップ、海外留学、大学院進学、公務員試験など、何でも相談に応じます。個別相談はもちろんのこと、お友達同士やゼミ・サークル単位でのグループ相談も受け付けます。将来についての悩み、疑問などがあればぜひお気軽にお越しください。

ALL MEIJI インターンシップ

インターンシップとは企業などにおける就業体験のことです。就職キャリア支援センターでは、300以上もの企業・団体と提携し、「ALL MEIJI インターンシップ」を実施しており、学部・学年を問わず参加できます。まずは各キャンパスで開催するオリエンテーションに参加してみてください。

キャリア講座

学部間共通総合講座内にキャリア講座を開講しています。各業界の第一線で活躍している社会人を講師としてお招きして、職業観を学び、進路選択能力の向上を目指す講座や、組織が求める人材像や社会人として求められる能力について理解を深め、自己表現の技法を学ぶ講座などがあります。

このほかにもさまざまな取り組みを実施しています。詳しくは大学ホームページ、学内掲示板、Oh-o!Meijiなどを定期的に確認してください。

司法試験、公認会計士、公務員(国家・地方)を目指すなら

「国家試験指導センター」へ

▶ <https://www.meiji.ac.jp/netsc/>

法制研究所

裁判官・検察官・弁護士を目指す学生に対して、基礎から専門科目までの学習を指導し、法律専門職(法曹)試験合格へのステップアップを図ります。

経理研究所

公認会計士試験合格をサポートする「特別会計研究室」および「会計士講座」と、大学での学習や将来の就職に役立つ「簿記講座」を設けています。

行政研究所

国家公務員総合職・一般職試験や、地方公務員上級試験などへの合格を目指して指導しています。

ガイダンスの日程などは、大学ホームページ、Oh-o!Meijiのお知らせを確認してください。



マスコミ業界(ジャーナリスト)を目指すなら

「基礎マスコミ研究室」へ

▶ <https://www.meiji.ac.jp/seikei/kisomasu/>

マスコミ業界を目指す学生を対象に、第一線で活躍するジャーナリストやプロデューサーを招いて、文章講座・時事講座などを行っています。

詳細は政治経済学部掲示板およびOh-o!Meijiのお知らせを確認してください。



Campus Spot!
行って
みよう!

キャンパス スポット

SURUGADAI CAMPUS

駿河台キャンパス (東京都千代田区)

法学部・商学部・政治経済学部・文学部・経営学部・
情報コミュニケーション学部(各学部3・4年次)・大学院・専門職大学院

DIRECTION

JR中央線・総武線・東京メトロ丸ノ内線
「御茶ノ水駅」下車 徒歩約3分

東京メトロ千代田線
「新御茶ノ水駅」下車 徒歩約5分

都営地下鉄三田線・新宿線・東京メトロ半蔵門線
「神保町駅」下車 徒歩約5分



スカイラウンジ眺
(リパティタワー17階)

地上約75メートルからの見晴らしが自慢の学生食堂です。通常の3倍量の「トリプルカレー」や「トリプルタンメン」も!



陽だまり広場
(リパティタワー2階)

ベンチでのんびり過ごすことができます。ここで弁当を食べれば、都心の駿河台キャンパスでもピクニック気分。



岸本辰雄ホール
(リパティタワー23階)

地上120メートルの景色を楽しむことができます。ホール内には、明治大学を卒業した著名人のサインも飾られています!



明治大学博物館
(アカデミーコモン地階)

60年以上の歴史を持つ商品博物館と刑事博物館、考古学博物館が2004年に統合しました。常設展示資料は約3000点。

IZUMI CAMPUS

和泉キャンパス (東京都杉並区)

法学部・商学部・政治経済学部・文学部・経営学部・
情報コミュニケーション学部(各学部1・2年次)・大学院

DIRECTION

京王線・井の頭線
「明大前駅」下車 徒歩約5分



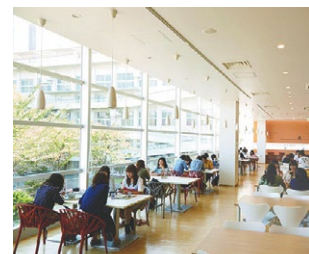
和泉図書館

多様な空間・閲覧席を設けており、グッドデザイン賞などを受賞しています。共同閲覧室では会話もOK!



メディア棟 メディア自習室・
CALL自習室

空き時間や予定のない日などに自由にパソコンを使用できます。学生証があれば、印刷も可能です!



和泉の杜(学生食堂)

2019年にメニューをリニューアル。1階は主に定食、2階は麺類、3階はカレーとカフェテリアのコーナーです。



学部掲示板

大学にはホームルームの時間がない代わりに、掲示板でいろいろな連絡をします。登校したらまずは掲示をチェック!

明治大学4キャンパスそれぞれの、
知っておきたいオススメスポットを紹介します!

IKUTA CAMPUS

生田キャンパス (神奈川県川崎市)

理工学部・農学部・大学院

DIRECTION

小田急線
「生田駅」(準急・各駅停車)下車
南口徒歩約10分

小田急線「向ヶ丘遊園駅」
(快速急行・多摩急行を除く急行と準急・各駅停車)
北口下車→小田急バス「明大正門前」で終点下車



生田図書館

自然科学・工学を中心に、一般文芸書も多数配架。入り口付近に設けられた特集コーナーでお気に入りの1冊を見つけよう!



生田食堂館
スクエア21

各階で違うメニューを取り揃えています! こちらは3階「明大生田DINING」で食べられる旬の食材を使用した「日替わり定食」です。



ネオ屋台村

日替わりの屋台でメニューも豊富です。注文を受けてから調理するため、できたてのランチを食べられます。



植村直己記念碑

冒険家の植村直己は、本学農学部の卒業生です。彼の不撓不屈の精神を後輩に語り継ぐ「碑」です。

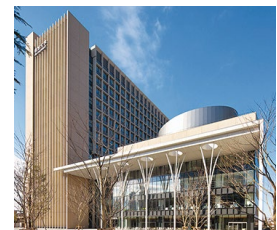
NAKANO CAMPUS

中野キャンパス (東京都中野区)

国際日本学部・総合数理学部・大学院

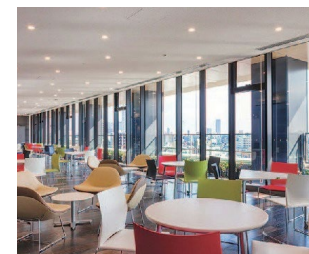
DIRECTION

JR中央線・総武線・東京メトロ東西線
「中野駅」下車
徒歩約8分



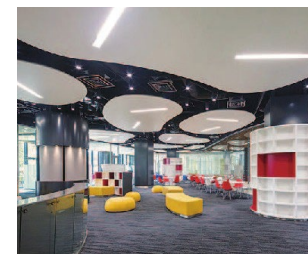
3階ラウンジ
(高層棟3階)

ガラス張りて開放的な教室エリアの中央にあり、気軽なコミュニケーションスペースと静かな自習スペースを設けています。



クロスフィールドラウンジ
(高層棟6階)

教室エリアと研究室エリアの中間に位置している、教員・大学院生・学部生の憩いと交流のエリアです。



ラーニング・ラウンジ
(高層棟1階)

交流エリアと共創エリア、相談エリア、自習エリアの4エリアに分かれています。語学教材やPCなどの貸出も行っています。



アトリウム

高層棟と低層棟の間には、光が降りそぐ、開放的なガラスの吹き抜け空間が広がっています。

明治大学では、課外活動が盛んに行われています。特に、明治大学といえばスポーツ！明大生の熱い戦いを、みんなで応援に行きませんか？観戦を通じて愛校心が深まること間違いなし！神宮球場などに応援に行く学生支援プログラム「M-Naviプログラム」もあるので、ぜひ参加してください。

M-Naviプログラム

詳しくは明治大学ホームページから 検索

体育会

1905年に端艇部などの5部からはじまり、現在では46部(運動部44部、明大スポーツ新聞部、応援団)で構成されています。さまざまなスポーツ分野において選手、指導者を輩出するなど、長年にわたって大学スポーツ界だけでなく、日本のスポーツ界をリードする役割の一端を担っています。

注目！

1 硬式野球部

東京六大学野球連盟(明治、早稲田、慶應、法政、東大、立教)に加盟・所属。プロ野球界へ多くの有望選手を輩出しています。



2 ラグビー部

約6万人が見守る中、国立競技場で行われる決勝戦は大迫力。22年ぶりの優勝に続き、昨シーズンは準優勝で終え、再び日本一奪還に向けて発進する「重戦車軍団」に注目！



3 競走部(長距離)

紫紺の襷を携え、正月の風物詩でもある箱根駅伝に61回出場。第1回大会から出場している伝統もあり、過去7回の総合優勝に輝いています。



4 サッカー部

OBIに日本代表・長友佑都選手がいる強豪・サッカー部。昨年は3度目のインカレ優勝を果たし、シーズン四冠を達成しています。



5 卓球部

春季リーグ全日本大学総合選手権、秋季リーグ戦からなる「学生3大会」を制覇するグランドスラムを9回達成。トップ選手を輩出し続け、日本卓球界をけん引しています。



6 柔道部

オリンピックや世界柔道選手権大会など、世界を舞台に戦う選手を数多く輩出しています。



写真提供/明大スポーツ新聞部

体育同好会連合会(体同連)

48団体が加盟し、夏・冬合宿や対外試合を含む、本格的なスポーツ活動を展開しています。



理科部連合会(理科連)

17団体が加盟し、生田キャンパスを拠点に理科系分野の研究や創作活動に取り組んでいます。



3グループ・同好会

音楽・芸術グループ、人文・社会グループ、レクリエーション・スポーツグループが135団体、同好会が106団体活動しています。



サークル活動

詳しくは明治大学ホームページから 検索

明治大学のいろいろ
知っとこ！

これから4年間キャンパスライフを送るうえで、明大生なら知っておきたい5つのトピックスをご紹介します。

TOPIC 1

シンボルマーク

大学のイメージアップと、社会へのアピールを目的とした「Mマーク」。キャンパス内のあちこちで見ることができます。



TOPIC 2

校章

中央の「大学」の文字の左右に「明治」の校名が配されていることに気付きましたか？



TOPIC 3

スクールカラー
「紫紺」

明大生にはお馴染みの色。スポーツ観戦の時には、紫紺色の服を着ていくという明大生も多いんです。



LINEのクリエイターズスタンプもチェックしてね！

TOPIC 4

大学公式キャラクター「めいじろう」

明治大学のイベントや宣伝活動で大活躍！そのかわいらしさから、明大生に愛されているマスコットです。「森の賢者」と呼ばれるフクロウがモチーフになっています。2017年には誕生10周年を記念して、47都道府県の「ご当地めいじろう」が誕生しました。



LINEスタンプの詳細はこちら！

TOPIC 5

校歌

明治大学校歌

作詞 児玉花外
作曲 山田耕筰

一、白雲なびく駿河台
眉秀でたる若人が
撞くや時代の暁の鐘
文化の潮みらびきて
遂げし維新の栄になふ
明治その名ぞ吾等が母校
明治その名ぞ吾等が母校

二、権利自由の揺籃の
歴史は古く今もなほ
強き光に輝けり
独立自治の旗幟し
高き理想の道を行く
我等が健児の意気をば知るや
我等が健児の意気をば知るや

三、霊峰不二を仰ぎつつ
刻苦研鑽他念なき
我等に燃ゆる希望あり
いでや東亜の一角に
時代の夢を破るべく
正義の鐘を打ちて鳴らさむ
正義の鐘を打ちて鳴らさむ

式典や、野球・ラグビーなどのスポーツの応援でもみんなで歌います。覚えて歌おう！
また、京王線「明大前駅」の列車接近メロディーにも使われています。